



麻里布小だより



<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>

令和6年10月号 大野元良

目標を共有して着実な成果へ！

暑さの続く9月も下旬を迎えましたが、どの学年の子どもたちも、日々の学習活動に元気に取り組んでいます。こうした中、5年生は19日からの2日間、徳地青少年自然の家で自然教室に臨みました。写真の旗は、事前に、5年生が利用する階段に掲示されたものです。行事の目的・目標を子どもたちと共有して、着実な成果につなぐことを意図しています。



全校をあげて幅広い活動に取り組む2学期ですが、こうした構えを大切にして、子どもたちの成長を支援していきたいと考えています。

全国学力・学習状況調査の結果から②

前号に引き続き、「全国学力・学習状況調査」の結果の傾向について紹介します。本校の6年生は、国語、算数ともに、全国平均正答率を上回る結果となりましたが、細部からは成果（○）と課題（▲）を分析することができます。

【国語】

- 話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができる
- 目的や意図に応じて、集めた資料を分類したり関係付けしたりして、伝え合う内容を検討することができる
- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる
- ▲ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる
- ▲ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる

【算数】

- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができる
- 計算の仕方を考察して、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察ができる
- ▲ 速さの意味について理解している
- ▲ 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうか判断できる

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果】

多くの設問において、全国と比べて肯定的な回答が多いという結果でした。特に、次の点で全国平均より肯定的な回答が多い傾向が見られました。

- ・ 自分にはよいところがある
 - ・ 自分と違う意見について考えるのが楽しい
 - ・ ICT機器を活用して学習に役立てている
 - ・ いじめは許されないことだ
 - ・ 話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりする
 - ・ 友達の意見を尊重して学級生活をよりよいものにしようとしている
 - ・ 教科学習全般への意欲がある
 - ・ 問題に根気強く取り組もうとする意欲がある
- 一方で、次のことについての回答率がやや高い傾向であることが読み取れました。
- ・ 睡眠時間の確保など規則的な生活習慣は定着しているが、毎日朝食を摂らないという回答率
 - ・ スマートフォン等の使い方について、家の人と約束したことを守れていないという回答率

「書く」活動場面の設定、ICT機器の活用、振り返り活動の重視、「任せる・ほめる・受け止める」支援の構え等、これまでの取組の成果が感じられます。今後も、留意すべきポイントの焦点化を図りながら、指導を継続してまいります。保護者の皆様には、基本的な生活習慣・学習習慣の定着等により、子どもたちの確かな力の形成に向けてご協力をお願いいたします。